

自然の復元力 Vol.9

11月はPCOに関連した学会の大会開催月でした。日本ペストロジー学会が11月12～13日茨城県つくば市つくばカピオで、また日本環境動物学会が11月14～15日大阪府箕面市大阪青山大学で年次大会が開催され、名古屋 つくば 大阪と移動し両学会に参加しました。

日本ペストロジー学会では、一般講演30題、基調講演「ネズミに対する防除対策の効果に係わるネズミ忌新性についての研究動向」(草野忠治筑波大名誉教授)、シンポジウム「博覧会におけるIPMと協力防疫活動」(話題提供3題)で構成されていました。基調講演で新しい学術用語「忌新性」が紹介されました。シンポジウムでは科学万博つくば85、大阪花万博、愛知万博の3つの博覧会での有害生物防除が話題提供されました。一般講演はPCOにとって日常作業に身近な話題が多く、本学会の性格を表したものでした。わが帝装化成から蚊の発生調査などについて3題の講演を行い、存在をアピールしました。今回は盛り上がりが例年ほどではなかったように感じられました。



トコジラミ

日本環境動物学会は、一般講演数40題、ポスター発表16題、基調講演「大阪の食文化の成り立ち」(藤原政嘉大阪青山大教授)、シンポジウム「地球温暖化と害虫防除」(話題提供3題)で構成され、一般講演は2会場並行で実施されていました。基調講演は学会とは縁のない、異文化の話でしたが、面白かったです。シンポジウムの話題提供者はいずれも衛生動物関係者で、シンポジウムテーマの地球温暖化とは関係が乏しい内容であったのが残念でしたが、時機を得た話題であって、有意義でした。一般講演やポスターセッションは環境生物の防除に関するもの、環境アセスに関するものがバランスよくアレンジされ、また、いつになく参加者が多い(会員の約3分の1)年次大会でした。

わが帝装化成からチャタテムシの生態などに関して3題の講演を行い、存在をアピールしました。

個人的に興味深かった話題は、トコジラミが我が国のいろいろな場所で発見され、一般家庭での駆除事例もあること、カンザイシロアリの被害が拡大していること、レユニオン島で大流行したチクングニア熱がインド、東南アジアばかりでなくイタリア、フランスなどで流行し、その媒介蚊としてヒトスジシマカが大きな役割を果たしていること、そして、故に我が国への侵入リスクが増大していることなどがありました。来年度も帝装化成の若手とともに大会に参加し、講演発表を継続したいと考えています。継続こそ大きな力になると信じて…。(Sin)

弊社技術部の両学会での講演発表については、弊社HPに掲載しています。こちらどうぞ！

今月のオススメ

安全にエタノール噴霧できる シャットノクサス シリーズ

エタノール製剤を噴霧する場合、引火し爆発する恐れがあります。そこで、そのような問題が起こらないように安全性を高め、不燃性の炭酸ガスを噴射ガスとした消毒用噴霧器として「シャットノクサス(新耕産業株)」がオススメです。同シリーズには、小型で、無電源で作動が可能な「シャットノクサス ミニ」がございます。こちらはクリーンルーム仕様(ボンベ部分のフルカバー化、噴射ガス除菌フィルター装着、オートクレーブ対応のボトル・ノズル)にすることもできます(右写真)。



お問い合わせは、弊社HPからお願いします。

自然にやさしい総合生物害防止システム Symbiosis with Nature

株式会社帝装化成

URL <http://www.teisokasei.com>

E-mail info-teiso@teisokasei.com

本社	〒468 0045	名古屋市天白区野並 2丁目 334 番地の2	TEL 052-891-8311	FAX052-891-8440
名古屋	〒468 0045	名古屋市天白区野並 2丁目 334 番地の2	TEL 052-891-8311	FAX052-891-8440
岐阜	〒501 6264	岐阜県羽島市小熊町島 4丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX058-392-6407
四日市	〒510 0851	三重県四日市市塩浜町 1 番地 87	TEL 059-345-3571	FAX059-345-3572
北陸	〒920 0356	石川県金沢市専光寺町 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX076-267-6480
新潟	〒950 0906	新潟県新潟市中央区東幸町 1 番 15 号ナドビル 1 階	TEL 025-243-6471	FAX025-243-6422
D C G	〒468 0045	名古屋市天白区野並 2丁目 334 番地の2	TEL 052-891-8311	FAX052-892-0444